

由良川水系河川整備計画での並松地区について

平成31年2月4日

1.由良川流域の概要	1
2.戦後の主な洪水記録一覧	2
3.河川法改正の流れ	3
4.河川整備計画の概要	5
5.築堤整備の状況	9

1. 由良川流域の概要

○由良川は、その源を三国岳（標高959m）に発し、途中、土師川を合流し日本海に注ぐ、流域面積1,880km²、幹川流路延長146km、流域関係市町人口約32万人の一級河川である。



2.戦後の主な洪水記録一覧

○由良川の氾濫等により、住民は昔から幾多の洪水被害を受け、生命・財産を脅かされてきた。

主要洪水記録一覧(福知山水位5m以上の出水)

西暦	起年月日	要因	福知山最高水位(m)	主な被害状況
1907	明治40.8.26	前線	8.48 (推定)	死傷者20名、家屋の流出・全壊約1,000戸、家屋浸水約7,000戸
1953	昭和28.9.25	台風第13号	7.80	災害救助法適用、死者36名、床上浸水5,307戸、床下浸水2,458戸
1959	昭和34.8.14	前線 台風第7号	5.48	災害救助法適用、床上浸水435戸、床下浸水735戸
1959	昭和34.9.26	伊勢湾台風 (第15号)	7.10	災害救助法適用、死者2名、床上浸水4,455戸、床下浸水2,450戸
1961	昭和36.10.28	台風第26号	5.33	災害救助法適用、床上浸水767戸、床下浸水1,540戸
1962	昭和37.6.10	梅雨前線	5.15	床上浸水188戸、床下浸水237戸
1965	昭和40.9.14	秋雨前線	5.42	床上浸水411戸、床下浸水1,534戸
1965	昭和40.9.18	台風第24号	5.22	
1972	昭和47.9.17	台風第20号	6.15	床上浸水527戸、床下浸水1,024戸
1982	昭和57.8.2	台風第10号	5.45	床上浸水40戸、床下浸水65戸
1983	昭和58.9.28	台風第10号	5.57	床上浸水23戸、床下浸水49戸
2004	平成16.10.20	台風第23号	7.55	災害救助法適用、死者5名、床上浸水1,251戸、床下浸水418戸
2006	平成18.7.19	梅雨前線	5.00	冠水670ha
2011	平成23.5.29	台風第2号	5.14	冠水1,177ha、床上浸水1戸、床下浸水8戸
2011	平成23.9.20	台風第15号	5.73	冠水1,334ha、床上浸水2戸、床下浸水7戸
2013	平成25.9.16	台風第18号	8.30	災害救助法適用、床上浸水1,075戸、床下浸水544戸
2014	平成26.8.15	秋雨前線	6.48	災害救助法適用、床上浸水2,029戸、床下浸水2,471戸
2017	平成29.10.23	台風第21号	7.39	床上浸水104戸、床下浸水134戸
2018	平成30.7.5	梅雨前線	6.52	床上浸水226戸、床下浸水337戸



M29 福知山市内(鍛冶町)の被災



M40 福知山市内(内記)の被災



S28 山麓間見渡す限り浸水



S28 福知山市内(長町通)の浸水



S28 大雲橋に堆積する流木



S34 福知山市内(猪崎)



S34 福知山市内(北本町)



S57 大江町(現福知山市)

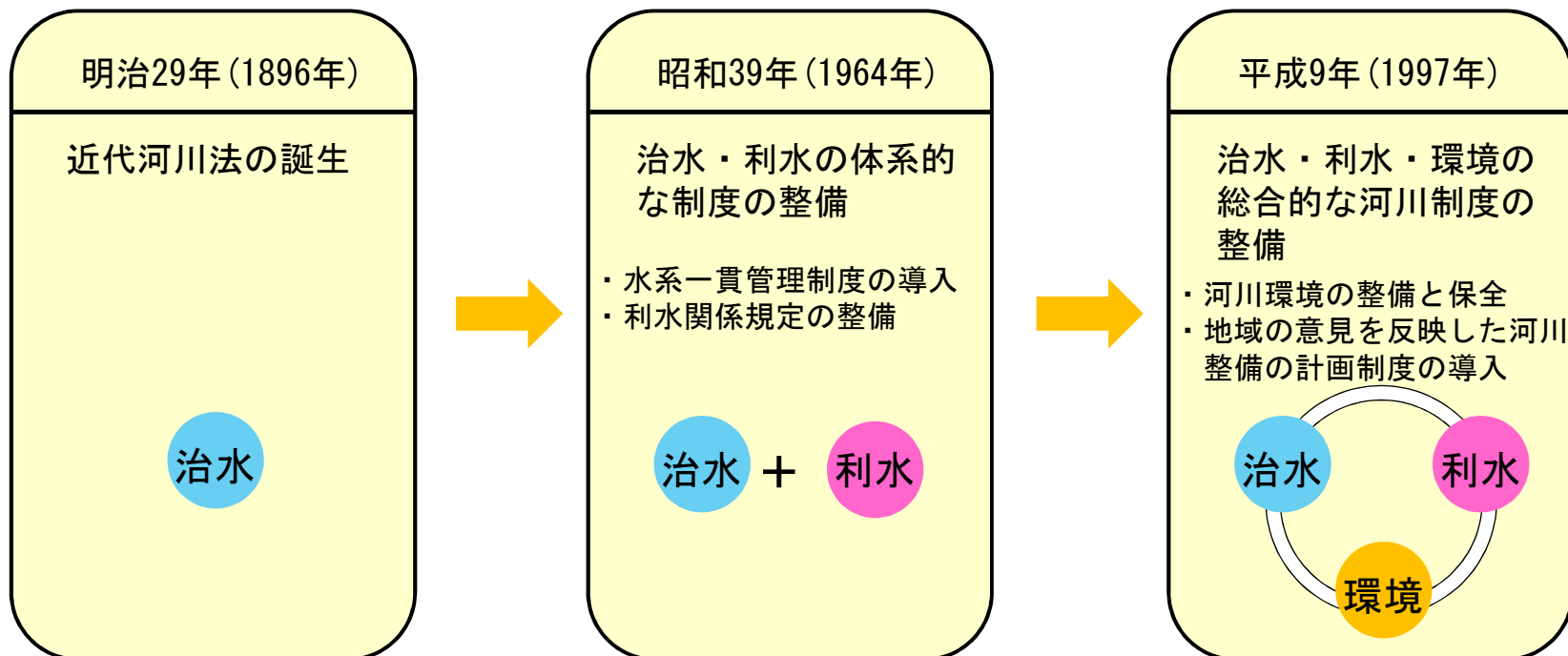
●被害状況は、「福知山50年のあゆみ」「綾部市史」「大江町史」記載の値を集計したものであり、本川・支川の別は不明。また、旧行政区域で集約されている箇所もあった。●昭和40年の被害状況は、9月14日と18日の2つの出水を合わせた数字となっています。

●H16、25年は、国土交通省調べ。H26年の被害状況は福知山市HPより(H27.3.20時点)

●水位は水文資料(福知山市、福知山河川国道事務所) ●H29、30年の被害状況は、沿線市の調査結果をもとに国土交通省にて集計。

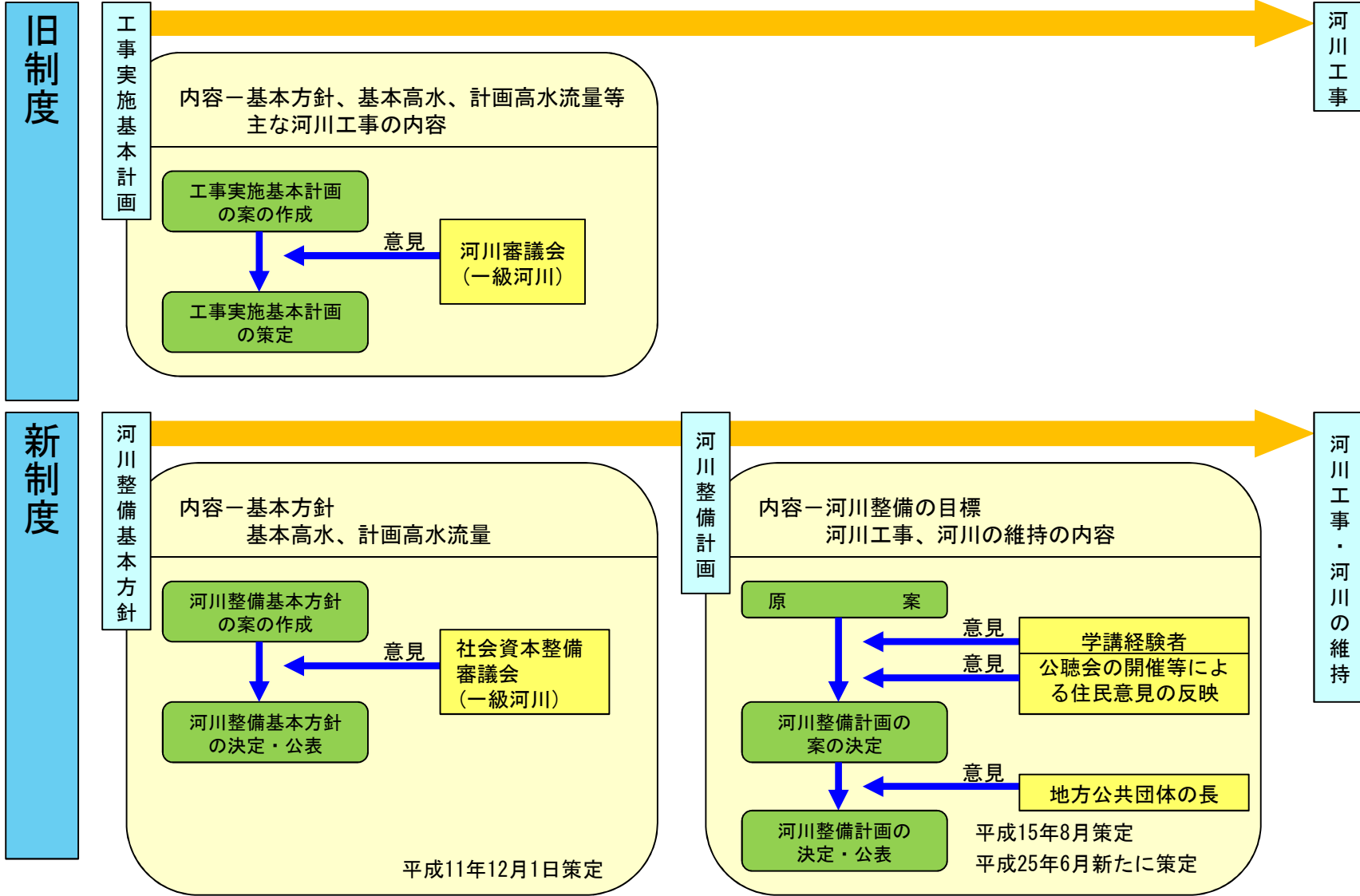
3.河川法改正の流れ

平成9年の河川法改正では、従来の治水・利水に環境が加えられ、総合的な河川制度を整備がなされた。



3.河川法改正の流れ(新しい河川整備計画の整備)

従来、河川工事は工事实施基本計画により進められてきたが、平成9年の河川法改正により、長期的な計画として河川整備基本方針を、当面の具体的な計画として河川志整備計画を定め、河川工事及び維持を進めている。



4.河川整備計画の概要(河川整備基本方針)

○「河川整備基本方針」とは・・・

水系に関する総合的な保全と利用に関する事項を定め、河川整備を計画的に実施する基本となるもの（100年に1度の規模の降雨により発生のある恐れがある洪水）。

由良川における基本方針は、平成11年12月に策定。

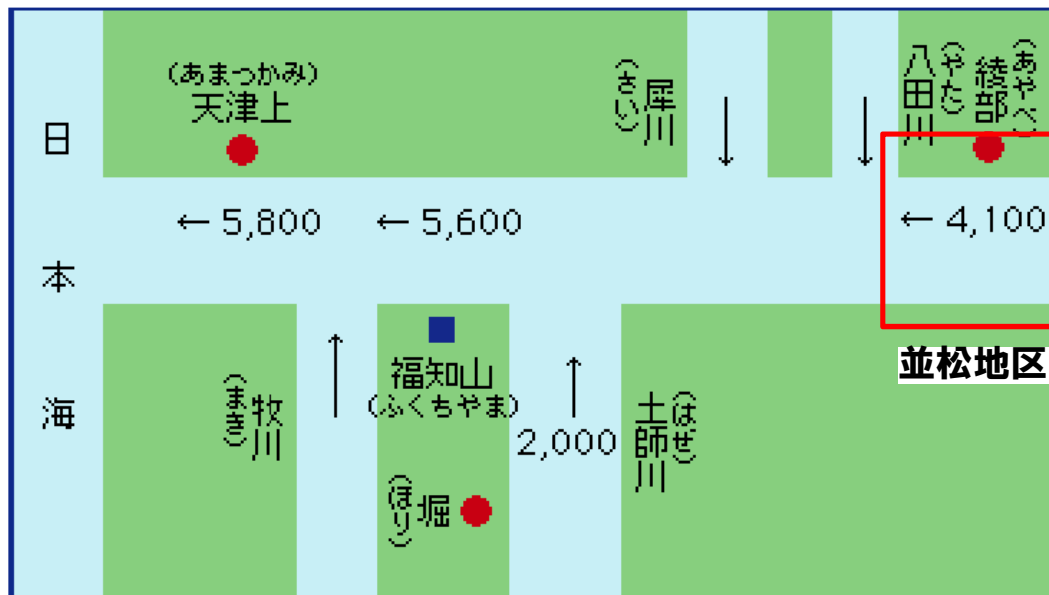


図 由良川計画高水流量図

4.河川整備計画の概要(河川整備計画)

○「河川整備計画」とは・・・

河川整備基本方針に沿った、当面※の河川整備の具体的な内容を定めたもの。

由良川における整備計画は、平成15年8月に策定（昭和57年台風10号規模の降雨）。しかし、平成16年台風23号による甚大な被害状況等を踏まえ、新たな「由良川水系河川整備計画（国管理区間）」が平成25年6月5日に策定（昭和34年伊勢湾台風規模の降雨により発生の恐れがある洪水）。

※由良川における対象期間は平成25年度から概ね30年間

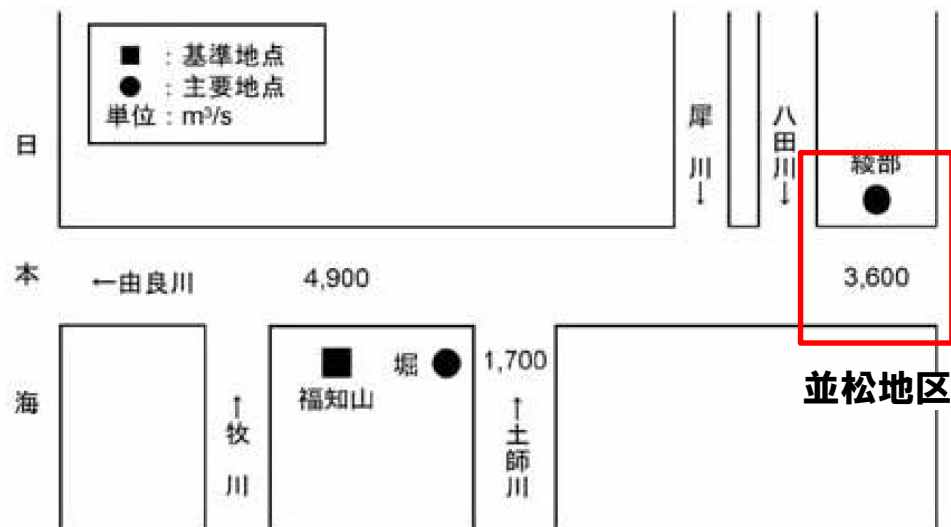


図 由良川水系河川整備計画により流下可能な流量

4.河川整備計画の概要(現況流下能力について)

○河川整備計画における並松地区の整備内容は、現況で流下能力が不足しているため、築堤整備を予定である。

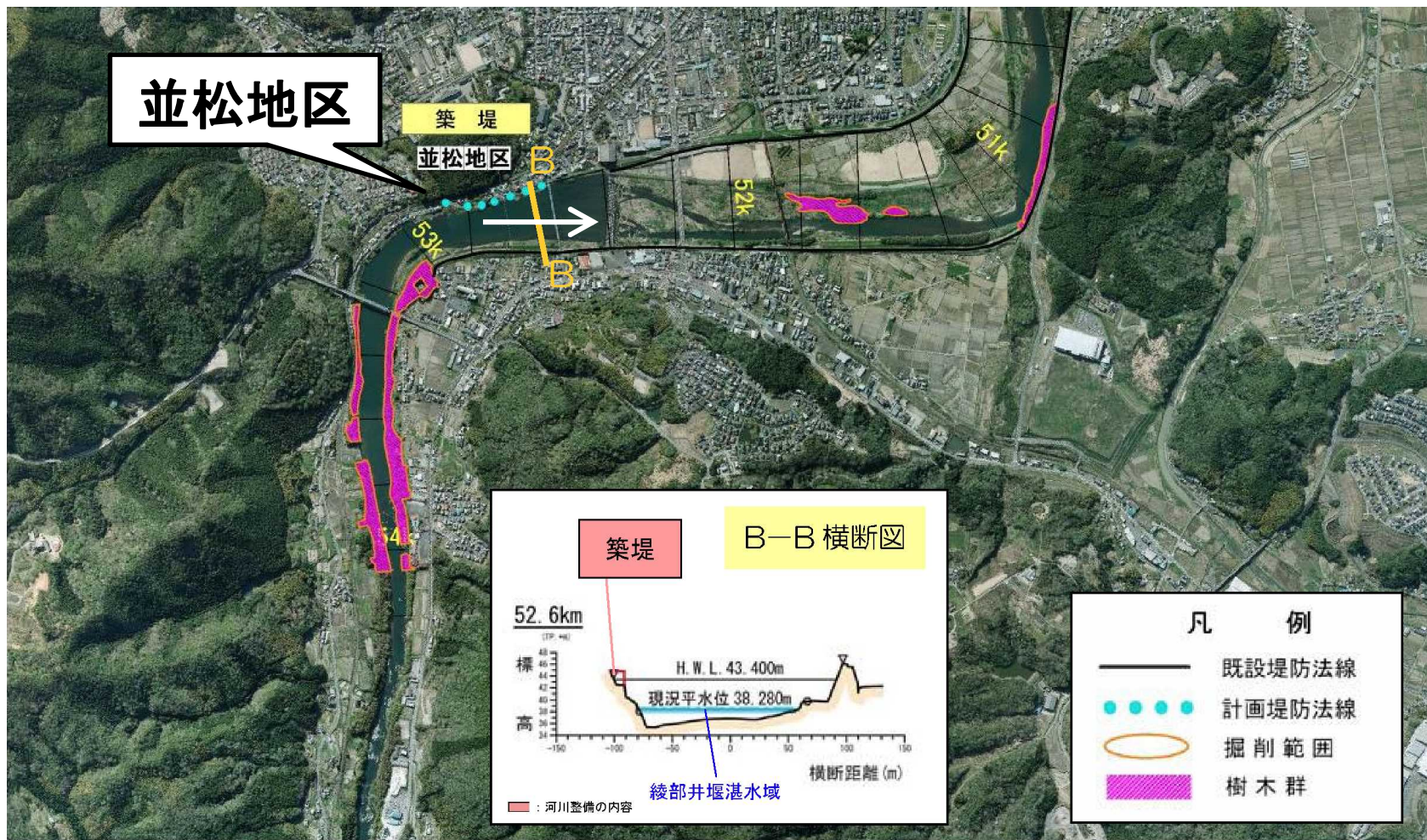


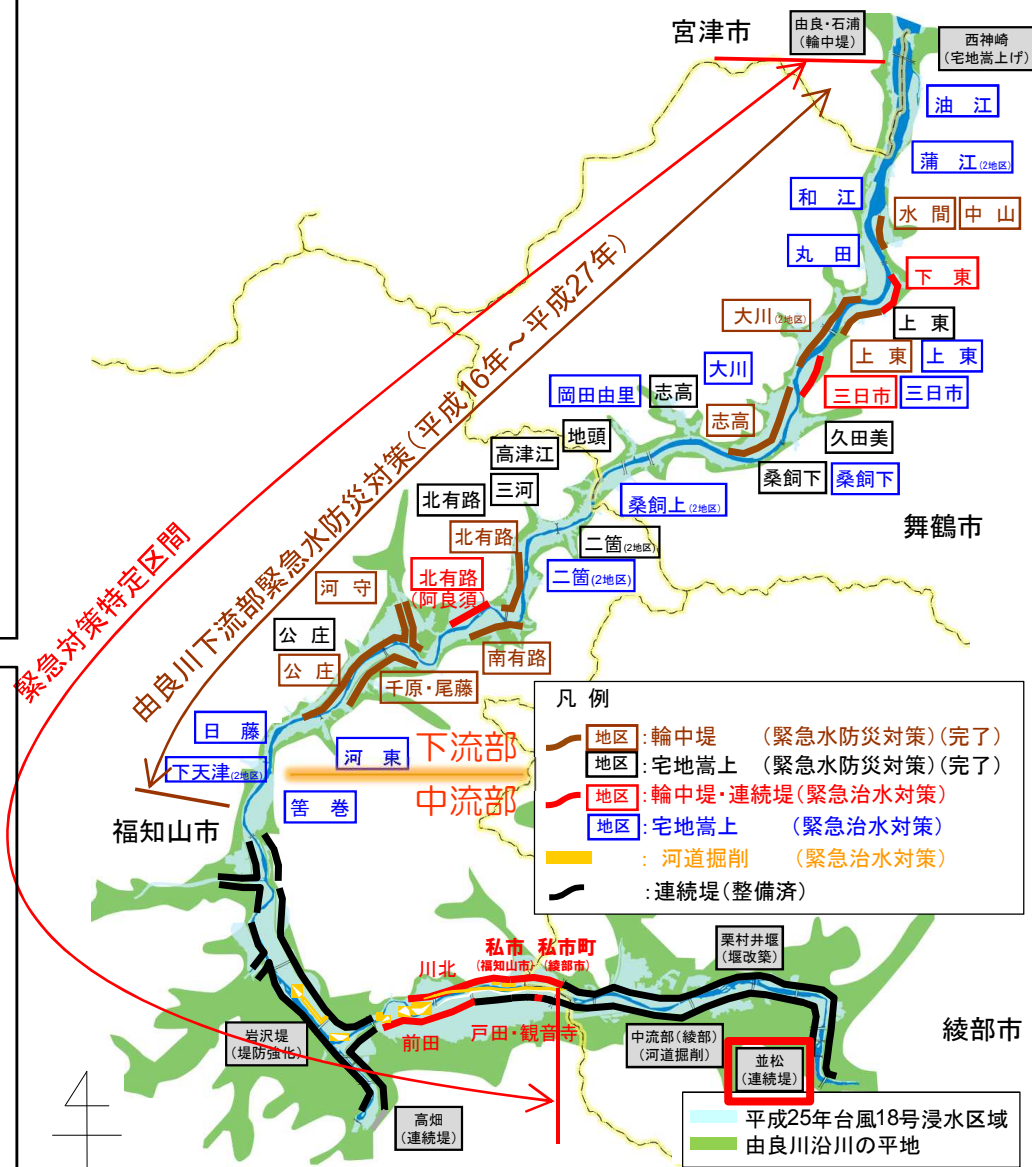
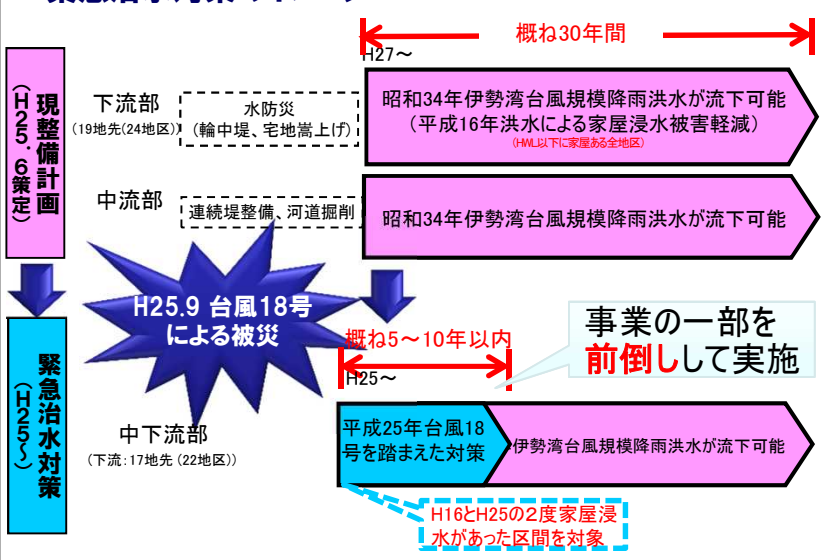
図 由良川水系河川整備計画における並松地区の整備概要

4.河川整備計画の概要(緊急治水対策)

緊急治水対策

- 対象：河川整備計画(変更)に位置づけられた区間のうち、H16とH25洪水で2度浸水した区間
- 期間：概ね5年から10年以内(平成30年代半ばの出来るだけ早い時期の完成を目指す)
- 内容：浸水被害の防止又は軽減を図るため
 - ・下流は輪中堤・宅地嵩上げ
 - ・中流部は連続堤の整備や河道掘削等
- 並松地区緊急治水対策の対象とはならず、現時点で完成年度は未定

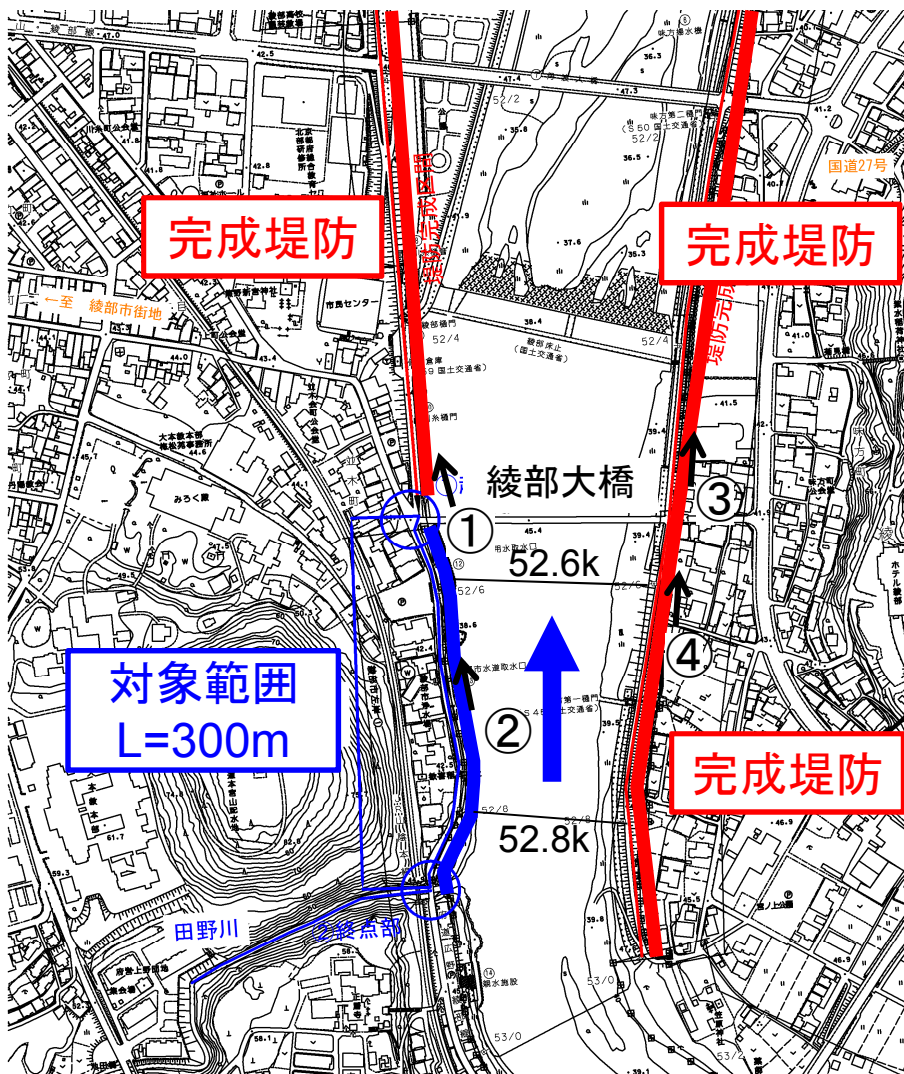
緊急治水対策のイメージ



※関係機関との協議及び地域意見を勘案し、内容を変更する場合があります。

5.築堤整備の状況

○並松地区の下流と対岸の右岸側の築堤整備が完了している。



並松地区の被害【昭和28年】



流出した松並木【昭和28年】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)



①左岸綾部大橋下流



②左岸綾部大橋上流



③右岸綾部大橋下流



④右岸綾部大橋上流

図 並松地区の周辺の改修の状況